

東北学院

同窓会

TGスポーツへの期待

TGスポーツOB連合会会長 高橋富士男

TGスポーツOB連合会は昭和四十八(一九七三)年に体育会各部OB会を結集したかたちで「TG春秋会」として誕生、その後名称を「TGスポーツOB連合会」に変えて現在に至っている。現在の加盟は四十団体である。本会は、TGスポーツの発展のために体育会の学生諸君に物心両面の応援をしながら母校の隆盛に貢献しよう、というのがその目的である。財源が潤沢ではない中で活動ではあるが、年間の事業として、活躍した個人、団体に

対しての「勲功章」授与、体育会学生を対象とした「スポーツ講演会」、そして「就職セミナー」の開催などに加え、「機関誌『躍動』」を発行して加盟団体間の横の連係強化にも努めてきている。

そんな中、会員数も一万五千名を超えると思われる声、とりわけこのところのTGスポーツの不振に対する叱咤激励、と言いたいが、TGスポーツの低迷について不満の声が多く聞かれる。確かに本会が発足した五十年ほど前は東北地区内の大会

で負けたら恥ずかしいと思うくらいにほとんどの競技で優勝していたので、その当時の先輩の気持ち、言い分もわからないわけではない。とりわけ総合定期戦を通じて交流のある青山学院大学の男子駅伝の活躍ぶりを見るにつけ、「東北学院大学のほとんどの部が今や東北でも勝てないのか」とのお叱りはいかにもごもつともであり、何とも反論できない。やはり、大学からのこれまで以上の理解と支援体制があり、高校生たちが本学を目指したくなるような有能な指導者を含むスポーツ環境が整ってきて初めていくつかの競技部が全国制覇に

東北の大学の中でも全国制覇する競技が出てきて、その活躍ぶりに他大学ながら敬意を表したい。その日本一の活躍はネットでまたたく間に国内外に流される

学生、家族、そして同窓生が我が大学を誇りに思う。素晴らしいことである。仙台では大学女子駅伝が毎年開催されている。多くの方々と東北学院大学でも女子駅伝に力を入れて杜の都をTGマークで走ってほしい、との期待の声が多く聞かれる。陸上競技部の強化方針もあろうが、憎悪ながら、ここは是非とも女子駅伝の強化策の舵を取っていただきたい。折角仙台で開催される注目の大

会でありテレビ放映もされる大会である。東北学院大学の職を掲げ、沿道でTGの小旗を振って応援したいものである。強化策から話がそれるが、青山学院大学体育会OBOG連合会がその組織を二〇一九年から一般社団法人化して活動している。そこで青山学院大学から、社団法人設立に向けて担当された事務局の方々に仙台までご足労をいただきご指導を受けた。法人化に向けてそれなりの

エネルギーが必要となるが、体育会に所属する学生諸君の最大の応援団として、足元を固める意味でも本会も一般社団法人化に向けて検討を進めてまいりたい、と

寮生活から学んだこと

文経学部昭和33年卒 狩野 忠志

小生、昭和二十九年文経学部に入學。昭和三十三年卒業。卒業後中学校教員に。早や八十七歳になる。まず、四年間を過ごした寮での経験から。

当時、寮生は百二十人程、その過半数は北海道勢で占められた。彼らは一様に「内地に憧れてきた」という。しかし、心の中では北海道を「外地?」と思っていたのでは!という疑問がある。が、四年後道内に職を得て寮を去る際、「我々は下サン

「コである」と、異口同音に北海道へと。私は、そこに彼らの見識を見る思いがし、今も心にある。にも関わらず彼らが内地(ここでは宮城に)何故一様に憧れを抱いたのであろうか。思うに、明治維新と共に社会構造が一変、土族も自力で家族を支える必要に迫られ、所属領主と心を一つに渡す道。新地開拓に専念、ここで、札幌市白石区名の起源を尋ねると本県白石市にたどり着

置している。大学の規模からいっても偏差値もさることながらスポーツにおいても東北のトップに位置してほしいとの期待の声は当然のことである。TGスポーツの活躍は一万名を超える現役学生にとって、また約二十万名の同窓生やそのご家族、そして教職員にとっても誇りである。大

学からこのしつかりとした支援体制のもとでTGスポーツが覚醒し、国内外で活躍するアスリートが誕生することを期待したい。

学歴時報を拜見するに当たって、東北学院時代を思い出します。小生は昭和二十九年に当時の夜間の短期大学法科に入学しました。しかし、昭和二十年代末期に朝鮮動乱でふくれ上がったバブル経済がしぼんでたちまち不景気に。いつまでたっても景気が向上かないので「ナベ底景気」と言われたものです。短大を卒業したところで就職できません。一年後、屋間の文経学部経済学科に編入しました。当時の松木太郎先生(商法)、佐藤謙三先生(経済原論)などを懐かし

思ひ出します。昭和三十四年の卒業。日経では一時東京本社(大手町)の社会部に配属され、警視庁の記者になりました。小生は中学を卒業後、家業の農業に従事していましたが、百姓から新聞記者へ、と変わった道歩んだのです。若い時は思い切ったことも必要とありますが、チャレンジしてみたらどうでしょう。驚くような道が開けるかも知れませんよ。

同様に伊達市も本県からの移住民開拓に起源するというように、彼らの「憧れ」の底には、「我が先祖の故郷を訪ね、在りし日の先祖を偲び、改めて先祖の労苦に報いたい」の思いからであろうと推察する。しかし、維新から九十年。彼らが祖先の意志を道内で実現すべく、寮を去る時に口にした「道産児」の心意気は経年変化して来ているに違いない。

私が学院を出て既に六十二年。維新から起算すると百五十年。時代の推移で「内地」の表現も陳腐化したと思われ。そのためか、「道

産児」の表記は辞典から消えつつある。しかし、私にとって寮生活から得たものは多かった。中でも、栗原郡の郷土史研究である。なにせ生まれは神奈川県横浜市だからである。栗原へは昭和十九年に戦禍を避けるべく、父母と共に疎開。既に、父母は他界した。それ故、一層、栗原の歴史に心が引かれる。幸い中学校教員。転任の度に栗原への視野が広がり、感じ取った成果をその都度まとめた。自費出版。学院大の図書館にも献本した。今もなお、続編を計画・進展中である。

Regrets, I've Had A Few

懐かしさと後悔と

文学部昭和46年卒 工藤 明子

英文科に在学中は、潤沢な仕送りがあったわけではなかったのでアルバイトに明け暮れた。キャンパスから歩いてすぐの「ブードル」という喫茶店で授業の空き時間

に働いた。いよいよ切羽詰まると嫌々ながらそばつゆ工場でのアルバイト貼りのバイトをした。ベルトコンベアで流れてくるピンに黙々とひたすらラベルを貼り付けているという単純作業である。けっこうらしい仕事だったが、当日払いしてくれるのと、昼食時にソバが食べ放題だったのが良かった。

一番丁にあった「美人喫茶」でも数か月働いた。大して美人という訳ではないのに凶々しく応募したのは時給が良かったから。お店で着るおしゃやかなワンピースもないので、一緒に働いていた「美人」からもらった青いワンピースを着用した。客の一人が私を見て「この美人喫茶ですよね?」とイヤミを言ったが、聞こえないフリをした。衣食住に不自由だったが、今も昔もそういう学生はたくさんいるだろうし、とにかく若かつ

たからさほど気に病まなかった。卒業後ニューヨークに移り住み、キリスト教国の「素養」とは聖書なのだと思いつく思い知った。聖書の授業を取れば良かった。それが最大のリグレットである。

者クラブに居りました。事件記者の見習いです。間もなく仙台支局に配属され、「松川事件」の差し戻し公判」などを取材したことを憶えています。

その後名古屋支社報道部、富山支局長、北九州支局長、西部支社報道部次長、浦和支局長を経て最後は東京本社編集局庶務部長。浦和支局長の時代、当時の日本経済新聞社社長の森田康氏から長年の地方取材が評価され、社長賞をいただきました。

小生は中学を卒業後、家業の農業に従事していましたが、百姓から新聞記者へ、と変わった道歩んだのです。若い時は思い切ったことも必要とありますが、チャレンジしてみたらどうでしょう。驚くような道が開けるかも知れませんよ。

たかからさほど気に病まなかった。卒業後ニューヨークに移り住み、キリスト教国の「素養」とは聖書なのだと思いつく思い知った。聖書の授業を取れば良かった。それが最大のリグレットである。

驚いたのは、客は出さなかったオードブル類にはほとんど手を付けず、お開きにになると従業員がそれをバケツにジャンジャン捨てていくこと。私がスパーで買うような安物ではない高級な厚いロースハムやおしゃれなフィンガーサンドウィッチなどのにもつたない。というのでその次からは保存容器を持参して持ち帰り、束の間の贅沢を楽しんだものだ。

フランク・シナトラの「マイウェイ」の歌詞を借りれば、Regrets I have a few、大学生活で悔やまれることは幾つかある。礼拝をさぼってばかりだったの

な歌えない。もったいないのは聖書をよく読ま

「百姓から新聞記者へ」法(憲)昭和32年・文経学部昭和34年卒 佐藤 誠

学歴時報を拜見するに当たって、東北学院時代を思い出します。小生は昭和二十九年に当時の夜間の短期大学法科に入学しました。しかし、昭和二十年代末期に朝鮮動乱でふくれ上がったバブル経済がしぼんでたちまち不景気に。いつまでたっても景気が向上かないので「ナベ底景気」と言われたものです。短大を卒業したところで就職できません。一年後、屋間の文経学部経済学科に編入しました。当時の松木太郎先生(商法)、佐藤謙三先生(経済原論)などを懐かし

思ひ出します。昭和三十四年の卒業。日経では一時東京本社(大手町)の社会部に配属され、警視庁の記者になりました。小生は中学を卒業後、家業の農業に従事していましたが、百姓から新聞記者へ、と変わった道歩んだのです。若い時は思い切ったことも必要とありますが、チャレンジしてみたらどうでしょう。驚くような道が開けるかも知れませんよ。

たかからさほど気に病まなかった。卒業後ニューヨークに移り住み、キリスト教国の「素養」とは聖書なのだと思いつく思い知った。聖書の授業を取れば良かった。それが最大のリグレットである。

驚いたのは、客は出さなかったオードブル類にはほとんど手を付けず、お開きにになると従業員がそれをバケツにジャンジャン捨てていくこと。私がスパーで買うような安物ではない高級な厚いロースハムやおしゃれなフィンガーサンドウィッチなどのにもつたない。というのでその次からは保存容器を持参して持ち帰り、束の間の贅沢を楽しんだものだ。

フランク・シナトラの「マイウェイ」の歌詞を借りれば、Regrets I have a few、大学生活で悔やまれることは幾つかある。礼拝をさぼってばかりだったの

高齢者叙勲受章者 2021年7月
この度、7月1日付で高齢者叙勲受章者が発表され、長年の各分野における功績・功勞に報いる栄譽に本学の同窓生が輝いた。
瑞宝双光章 木村 俊一氏(昭33文経卒)

同窓会事務局よりお知らせ
東北学院時報(同窓会)の原稿募集について
新型コロナウイルス感染症の影響により、同窓会ページの原稿が不足しております。
支部やTG会、同期会に関する話題、在学時代の思い出など、同窓生の皆様からの東北学院にかかわる原稿をお待ちしております。
文字数: 1200文字程度(写真掲載1枚可)
募集期間: 2021年11月30日まで
掲載号: 第766号~第768号
提出方法: 郵送、FAX、メールなど
提出先: 校友課(同窓会事務局)
TEL(022)264-6468 FAX(022)214-0404
E-mail:dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院同窓会主催
第7回TG交流ゴルフ大会
2021年10月5日(火)
場所: 仙台カントリー倶楽部
名取コース(名取市愛島笠島)
022-383-3636
東北学院同窓会主催「第7回TG交流ゴルフ大会」を開催いたしますのでご案内申し上げます。
詳細は同窓会ホームページでお知らせいたします。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になる場合もございます。

TG十五日会のご案内
◆10月15日(金) 正午
演題: 大学学長、中学校・高等学校校長、
桜ヶ岡高等学校校長による挨拶
◆11月16日(火) 正午
講師: 仁昌寺 正一氏(本学名誉教授)
場所/仙台国際ホテル、会費/1,500円(食代)
※出席を希望される方は校友課(022-264-6468)へご連絡ください。
※駐車場をご利用になる場合は、各自負担になります。
※お申込みをされていない方の当日のご参加はご遠慮ください。

支部・TG会のご案内
◆今年度総会中止の支部・TG会
・一関支部
・神奈川支部
・新潟支部
・北上・和賀支部
・電気工学TG会(コスモス会)
・工学部機械TG会
◆近畿支部総会
日時: 11月23日(火) 11:30~
場所: 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
※新型コロナウイルスの感染状況により、中止・延期の場合あり

東北学院同窓会費(時報購読料を含む)のお願い
ネットバンキングから払込される際には
1 帯封の氏名 2 番号(9桁) 3 住所
を入力願います。

訃報
熊谷 直治 殿
(昭和23年中学、昭和26年高校、昭和30年)
[文経卒]
2020年4月20日、永眠された。
陣場 峰雄 殿
(昭和60年法法卒)
2021年7月11日、永眠された。